

編集後記

平成30年で、協同普及事業が70周年を迎えました。これに先立つ平成29年11月より、記念事業のあり方について、普及職員協議会と研究・普及推進室とで協議を重ねてきました。この記念誌も、記念事業の一環として取り組むこととし、29年度のうちに具体的な構成を定め、執筆予定者を選定して準備を進めてきました。このたび、多数の皆様のご協力により、この冊子を完成させることができました。心よりお礼申し上げます。

今回の記念誌にはご多忙にもかかわらず、農業者の皆さんや普及OBの皆さんからの熱いエールやご提言を多数いただきました。また現在活動中の、農大を含む普及職員の皆さんによる多彩な活動事例も掲載することができました。農業を取り巻く状況が刻々と変化していく中で、10年ごとの節目に、その時々で誰が何を思い、どのように振る舞っていたのか。どのような悩みや達成感があったのか。何が残せたのか等々。様々な思いや足跡を可視化して記録することは非常に意義深いことだと思っています。今回の記念誌も、これまでに劣らず充実した内容となりました。過去を懐かしく振り返るにも、未来の夢を語り描くにも、良き道しるべとして繰り返し書棚から取り出され、見開かれることを期待しております。

さて、私事で恐縮ですが、本年4月より普及を離れて試験場へ移りました。結果的に70周年記念事業との関わりは、前年度中の事前準備のみという結果となったのですが、ご配慮により、この一文をよせる機会を与えていただきました。ありがたいことと、感謝しております。

最後に、執筆のお願いに対し快くご承諾いただき、労を惜しまずご寄稿いただいた農業者や普及OBの皆様はもちろんのこと、執筆依頼やとりまとめ等の実務にご尽力いただいた編集委員の皆様も含め、発行に関係された皆様に対しまして、改めて厚くお礼申し上げます。編集後記とさせていただきます。

平成30年10月

編集委員代表 吉田 亮
(前鳥取県普及職員協議会会長)